

科目区分	専門分野			科目番号	1201	曜日時間	不定期
授業科目	精神看護学概論						
単位数	1 単位	時間	1 6 時間	開講時期	1 年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	佐藤 麻希						
授業目的	<p>1. 人間のこころ（精神）の発達・健康を理解し各発達段階における発達課題、こころの健康上の課題に及ぼす影響を学び対応を学ぶ。</p> <p>2. 精神医療の歴史的な変遷を踏まえて精神保健医療福祉に関する法が人権尊重や権利擁護、また、精神障害者が地域でその人らしく生活するための制度を学ぶ。</p>						
中核	こころの健康 精神障害者偏見差別 精神医療変遷						
授業目標	<p>1. 精神（こころ）の構造と機能を理解できる。</p> <p>2. 発達段階に応じた発達課題が理解できる</p> <p>3. ストレスが及ぼす影響と対策を考えることができる。</p> <p>4. 日本の精神医療の変遷から精神保健法制度が理解できる。</p> <p>5. 現代の精神保健の問題を考えることができる。</p> <p>6. 精神看護の役割と機能を理解できる。</p>						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	<p>1. 精神看護の役割と機能</p> <p>2. 精神（こころ）のとらえ方</p> <p>1) 精神（こころ）の構造と働き</p> <p>2) 自我の防衛機制</p> <p>3. 精神（こころ）の発達に関する主要な考え方</p> <p>1) 発達理論</p> <p>4. 心身の健康に及ぼすストレスの影響</p> <p>ストレス反応・ストレスへの対処</p> <p>危機介入</p> <p>5. 家族と精神の健康</p> <p>6. 現代社会と精神（こころ）の健康</p> <p>1) 現代社会の特徴</p> <p>2) 現代社会における精神保健の主な問題</p> <p>3) 自分たちの住む地域の問題</p> <p>7. 精神保健医療福祉の歴史と法制度</p> <p>1) 欧米・日本精神医療の歴史</p> <p>2) 患者の権利擁護（アドボカシー）</p> <p>3) 精神保健及び精神障害に関する法律</p> <p>4) 精神保健医療福祉に関連する法制度</p> <p>8. まとめ・評価</p>	講義 グループワーク	16	佐藤 麻希	パフォーマンス課題	
終了後課題	リフレクションノート、パフォーマンス課題						
評価計画方法	提出物（20%）、筆記試験（80%）						
テキスト参考図書	武井麻子ほか：系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕精神看護の基礎【電子版】，医学書院						
実務歴有	看護師：病院勤務 5年 看護教員：学校勤務 8年						
講義への反映	看護実務経験から精神科看護の概要を授業に反映する。精神保健医療福祉の歴史と法制度は大きく転換期を迎えており、複雑ではあるが、実際の地域の取り組みに参加し、偏見や差別を発生させない仕組みを理解できる講義を行う。						
備考							